

神奈川県立金井高等学校同窓会 定期総会 議事録

1. 日 時 令和7年(2025年)9月15日(月) 午前11時～
2. 場 所 金井高等学校2階会議室
3. 出席者 (役員)森 秀 明、長谷部 健一、小島 将太、白 井 忍、神保 真由美
(一般会員)川 上 仁、川 崎 香(第2号議案より出席) 計7名
4. 議 事

※いずれも提案内容については会議資料を参照ください。

議長選任 長谷部副会長を議長に選任

【第1号議案】 令和6年度事業報告(森)

《資料の追記・補足》

1. 活動記録

4月21日(月)同窓会口座より50周年記念事業実行委員会口座へ250万円入金

8月19日(火)50周年記念事業実行委員会口座よりまなびや基金へ250万円入金 以上2件を追記

2. 事業内容

(カ)に、吹奏楽部の吹奏楽コンクール東関東大会、全国吹奏楽大会in横浜についても支給したことを追記。

以上の追記を行った上で審議。

⇒出席6名中6名賛成で承認。

【第2号議案】 令和6年度会計報告(白井)

本来、会計年度の締めは7月31日だが、同年度分である同窓会報の発行に伴う請求が7月31日であったため、その支払い日の8月4日までを令和6年度分として計上している。

収入の部にある「50周年事業寄付金」については、当初、立替予定だった300万円分の回収を見込んで予算建てしていたが、回収分の振込が予定と異なり令和7年度にずれ込んだため、その分が赤字となっている。

支出の部にある科目名「会員情報連絡費」について、内訳が多岐にわたり不明瞭であることから、令和7年度予算より内容ごとの科目名とした。このため、令和7年度予算との比較を容易にするため、別枠に内訳を表示することとした。

会計監査の神保より、監査の結果、適正に処理されていることを確認した旨、報告有り

⇒出席7名中7名賛成で承認。

【第3号議案】 令和7年度事業計画(森)

まず、長期的な基本方針として、会員情報管理や同窓会ホームページや SNS 維持などの固定費による支出が、既存会員の年会費及び賛助金、新規卒業生の入会金・初年度会費の収入を超えないような収支バランスを目指すこととし、50周年関係の特別な収支のある令和7年度についても、それを前提とする計画とした。

紙版同窓会報の送付には一度に年間収入を上回る約250万円の支出を伴い、繰越金を減らしている大きな要因となっているため、上記基本方針に則り、紙版同窓会報の全員送付については廃止する方向とした。今後、廃止方針の告知やメールアドレスの収集を行うとともに、メールマガジンやWEB版への移行、限定送付等を検討していく。

また、50周年式典後に発行する予定であった「同窓会報50周年事業報告号」について、現在、地元タウン誌のタウンニュース社と、「タウンニュース金井高校50周年特別号」を計画しており、これが発行できれば、これを同窓会報に代えて会員に送付する方向で調整中。会報の制作・印刷費にあたる部分が削減できるため、それ

をこの特別号の発行・増刷費用にあてる。ただ、この特別号は大部分を協賛広告で賄う予定であるが、単価が相場より高いことから、広告募集が難航している。

部活動支援金については、令和7年度に関しては従前どおり継続することとしているが、令和8年度以降に向けて、クラウドファンディングの活用も検討する。

⇒出席7名中7名賛成で承認。

【第4号議案】 50周年記念事業計画(森)

議案書のとおり、前出の「タウンニュース金井高校50周年特別号」を含め、進行中の各事業について、引き続き、学校やPTAと協力して取り組んでゆく。ただ、式典の後の祝賀会について、県立各校の校長・PTA会長らが基本的に欠席の方向であることが後からわかったため、出席予定者が当初予定を大幅に下回っている状況があり、対応に苦慮している。

⇒出席7名中7名賛成で承認。

【第5号議案】 令和7年度予算案(白井)

従来の科目のうち、会員情報連絡費については、前出の通り、内容に応じて「情報管理費」、「HP・SNS管理費」、「会報発行費」に分けた。このうち、「HP・SNS管理費」には、第3号議案2.の(エ)LINE公式アカウントのライトプラン費用、年間6万円を新たに計上している。一方、「会報発行費」は、第3号議案3.に基づき、「タウンニュース」と「会報第16号」の2回分を想定している。また、従来の「交通費」「雑給」については規約上、支出する可能性があるが、長期にわたり支出実績がないことから、「予備費」に統合した。このため、予備費はその分、予算を増額している。

50周年記念事業に伴う臨時支出に対応するため「50周年記念事業費」を多めに計上している。

収入の部の「50周年事業寄付金」については、令和6年度は300万円を計上していたが、実際に立て替えた額は250万円であるため、まずはこの分の回収として予算計上している。これを上回る寄付収入があった場合は、クラウドファンディングの返礼などの必要経費の支出分を引いた額をまなびや基金への寄付に充てるが、これについては入金額をそのまま支出することになるため、収入・支出共に計上していない。

「会報発行費」については、2回分で450万円としているが、これは、2回目に当たる「会報第16号」を会報全員送付廃止の告知と今後の案内の号と位置づけ、200万円程度の縮小版を想定しているためである。

⇒出席7名中7名賛成で承認。

議長解任

5. その他

現在同窓会役員で会計・庶務・会計監査について各1名の欠員になっているため、出席者に打診をしたが立候補は得られなかった。会計監査は総会の承認が必要だが、会計・庶務に関しては会長による委嘱のため、年度中でも随時募集していく。